キャラクター名
シルヴァーナ・ツェペシュ　（Silvana □epe□）

プレイヤー名

シンドローム	ブラム＝ストーカー ハヌマーン	**ワークス**	レネゲイドビーイングC	**カヴァー**	UGN支部長補佐
オプショナル		**年齢**	不明	**性別**	女性
覚醒	生誕	**衝動**	加虐	**初期侵食率**	37 %
出自	人類への興味	**経験**	組織への所属	**邂逅**	腐れ縁

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	3	0	0			3
精神	2	1	0			3
社会	1	0	0			1

HP	27
行動値	9
(非装備時)	9
戦闘移動	14
全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	**SL**	**修正**	**技能**	**SL**	**修正**	**技能**	**SL**	**修正**	**技能**	**SL**	**修正**
白兵			射撃			ＲＣ	10		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ブラッド・プリズン	ＲＣ	3r+20		17+2D		ｺｽﾄ7：ｼｰﾝ（選択）、紅の刃+サイレン+ブラッドボム
ヴァンピーラ・ウィルヘルミナ	ＲＣ	6r+22		37+3D		ｺｽﾄ11：ｼｰﾝ（選択）、紅の刃+サイレン+ブラッドボム+ブラッドバーン
ノスフェラト・ヘルシング	ＲＣ	6r+22		37+9D		ｺｽﾄ15：ｼｰﾝ（選択）、紅の刃+サイレン+ブラッドボム+ブラッドバーン+オーブンバイン

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
造血剤	
デモンズシード	
思い出の一品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
“古代種（ｴﾝｼｪﾝﾄﾚｲｽﾞﾄﾞ）”	P	N		
ｱﾍﾞﾙ・ヴァン・セルクイユ	P 好奇心	N 憐憫		
同種の吸血鬼	P 好奇心	N 無関心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	2	残り財産P：	0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	rb	
効果：	衝動判定のダイス+lv、侵蝕率基本値+5							
オリジン：レジェンド	5	2	マイナー	至近	自身	自動	rb	
効果：	シーン間【精神】の達成値+[lv*2]							
サイレンの魔女	5	5	メジャー	視界	ｼｰﾝ（選択）	対決	-	
効果：	攻撃+[lv*3]、装甲無視、コンセントレイト組み合わせ不可							
ブラバ	3							
効果：	lv*4							
むしばむ赫	1							
効果：	邪毒							
死神の疾風	1							
効果：	行動値＋１０　ダメ３D							
ハイブリ	1							
効果：	２回分							
ヘルズブラッド	4	4	オート	視界	単体	自動		
効果：	Ｉｖ*２ｄ							
イモータルライフ	1	2D	オート	至近	自身	自動	Dロイス	
効果：	戦闘不能をコスト分のHPで回復する							
リセット	1						D	
効果：								
瀉血	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	血を綺麗にして美しい容姿と健康を保つぞ！							
ブラッドリーディング	★	-	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果：	血や体液などからその主の情報を読み取れる							
効果：								

「シルヴァーナ・ツェペシュ。吸血鬼よ。頭を垂れて乞うのならテザートくらいには考えてあげてもいいわよ？」
「ほら言うでしょう？『好きな子は虐めたくなる』って。そういう事よ。一つ違うのは貴方に興味なんてないって事くらいかしら。」

誕生日：不明
好きな物：夜、血液、他者をいたぶる事
嫌いな物：日の光（苦手ではなく嫌いなだけ）、可愛らしい顔の癖して気が強く趣味が悪い人間
一人称：私　二人称：貴方、００（名前呼び）

■経歴
数百年を生きる吸血鬼、その中でも生まれ持っての純然たる吸血鬼、真祖と呼ばれるヴァンパイア。
２００年前に交わした契約によりパリの名家、セルクイユ家に所属している。名前にツェペシュとあるがヴラド・ツェペシュの血筋であるかは謎であり本人もさして気にしてない。
吸血鬼として真祖と呼ばれる存在であることから解る通り相当の時間を生きている模様。あまりに長すぎるためか彼女自身どれだけ生きたか把握しておらず、また時間の感覚に疎くなっている。
世の中に飽き飽きとしていた２００年前の頃、後のセルクイユ家の当主となる人物が接触。一族の当主が仕える形となる事で彼女の力に制約を課す契約を結んだ。以後彼女はセルクイユ家と共に過ごす事となる。その強大な力にいくつもの制約がかけられる事となったが彼女が要求する物は何であれ通るし何より楽なので特に彼女は不満に思っていない。しかしなぜ彼女がこの契約を受けたかに置いては誰も知らず、彼女自身話そうとしない事から色々と込み入った事情があるようである。
現当主であるアベル・ヴァン・セルクイユとも多少異なるが主従契約を結んでおり基本的に行動を共にしている。まだ当主としては年若い彼をよくからかったりしているが時には助けたりもしている模様。（後に対価は要求するが）。